

分断を超えるために

複合的な災害が多発しています。12年を経た東日本大震災の被災地でも、新たな局面での苦難が続いています。直接の被害の後、「分断」という落とし穴があり、これをどのように乗り越えることができるか、私達の英知が問われています。その鍵の一つとして、9月実施のオンライン読書会で取り上げた『災害ユートピア』の著者R.ソルニットの示す利他の行為を「手つかずの可能性」として注目したいと思います。「危機に直面して生まれるスキル」としての災害文化を問う中で、基本的人間活動からこのスキルを位置づけると、その活動の一つに「利他」があり、一時の行動に留めるのではなく、災害を通して捉え直す課題となります。ショックドクトリンの現在を捉え、分断を超える可能性を見出すことにもつながると考えます。福島における原子力災害と人間復興という問題を取り上げての基調講演を受け、「分断を超えるために」議論を深めていきたいと考えます。

Association for Research on Disaster Culture

災害文化研究会 2023 研究大会

2023年 12月10日(日)

13:00~16:00

マリオス(盛岡市民交流センター)181室および Zoom 会場

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通2丁目9-1、18階

※12:45 入場開始。出入り自由です。

申込締切：11月30日

申込方法：下記サイトからお申込みください。あるいは、事務局へのお申込みも受け付けています。

<https://forms.gle/C5BEMHKsAky1f2UJA>



なお、Zoom 会場は締切後も可能な限り受け付けますが、マリオス会場は人数に上限がありますので、できるだけ早くお申込みください。

問い合わせ先：災害文化研究会事務局 email: saigaibunkaiwate@gmail.com

参加費
無料

主催 災害文化研究会

後援 岩手県、葛巻町、岩手大学、福島大学地域未来デザインセンター、岩手日報社
一般社団法人雄勝花物語、NPO法人津波太郎、シネマ・デ・アエル

オンラインサポート：株式会社サンサンスターラボ

12/10 (日) 13:00~16:00

全体司会 田中成行 (災害文化研究会企画委員)

1. 基調講演 原子力災害と人間復興～社会的分断を超えるために～

講師紹介: 初澤 敏生 氏

(福島大学教授、福島大学うつくしまふくしま
未来支援センター第4代センター長)

講師: 山川 充夫 氏

(福島大学名誉教授、福島大学うつくしまふくしま
未来支援センター初代センター長)



2. 現場からのメッセージ 葛巻の夢 ～分断を超えるヒントは現場に、
過疎地での豪雨災害を経験して～

鈴木 重男 氏 (葛巻町長)



3. ポスターによる活動紹介

4. トークセッション 分断を超える

○災害文化研究会の活動から、このテーマへの接近を図る

司会/山崎 憲治 (災害文化研究会企画委員長)

問題提起・課題設定

○ディスカッサント (指定討論者)

熊本 早苗 氏 (岩手県立大学盛岡短大部准教授)

『災害ユートピア』が問うもの

鳴原 敦子 氏 (東北大学大学院学術研究員)

ショックドクトリンから現在を問う

徳水 博志 氏 (雄勝花物語共同代表)

継続した復興活動・活動のなかから、可能性を問う

碓川 豊 氏 (行政書士、前大槌町長)

災害と自治再考

○総括コメント/ 山川 充夫 氏

<問い合わせ先>

災害文化研究会事務局 saigaibunkaiwate@gmail.com

* 災害文化研究会HP : <https://logos.edu.iwate-u.ac.jp/saigaibunka/>